広報 ひの 第1142号
■毎月1日・15日発行■発行/日野市■編集/企画部市長公室
〒191-8686 東京都日野市神明1-12-1 TEL.042-585-1111(代)
平成18年 2006 9/1

R100 古紙配合率100%
白色度70%の
再生紙を使用しています。

紙面から

駅前駐輪場のご利用を
定期利用にはお得な長期利用割引きが ....2
年末年始は八ヶ岳高原大成荘へ ....3
10月から
日野市まちづくり条例が施行 ....6・7
10月から日野市障害者地域生活
支援事業が始まります ....7
ひの市民大学で学びませんか ....12
後期講座がスタート

▲「地域懇談会」で意見交換

# 自治会と市をつなぐパイプ役ができました

## 市職員による地域サポーター制度

市では、地域と市役所を結ぶ新しい仕組み「地域サポーター制度」を始めます。各自治会に担当職員（サポーター）を配置し、地域と市との窓口とします。

まず、サポーターが自治会にごあいさつに伺います。その後、自治会と市との交流をはぐくみながら、防災・防犯・健康・子育て等、地域が抱える課題について協働で取り組みます。

（地域協働課☎581・4112）

**○目的**
・自治会とのパイプを強化し、協働によるまちづくりを推進
・防災・防犯・健康・子育て等地域向けの行政施策の紹介

**○サポーターの役割**
・地域（自治会）と市との窓口になります
・地域に関する市の情報や他の自治会の情報をお届けします
・地域間や地域と市との意見交換の場である「地域懇談会」を開催します

**○自治会へのごあいさつ**
9月中旬以降、担当サポーターが各自治会にごあいさつに伺います。

### こんな時、サポーターに声をかけてください

**自治会**
市役所に相談したいが、どこに相談してよいものか…

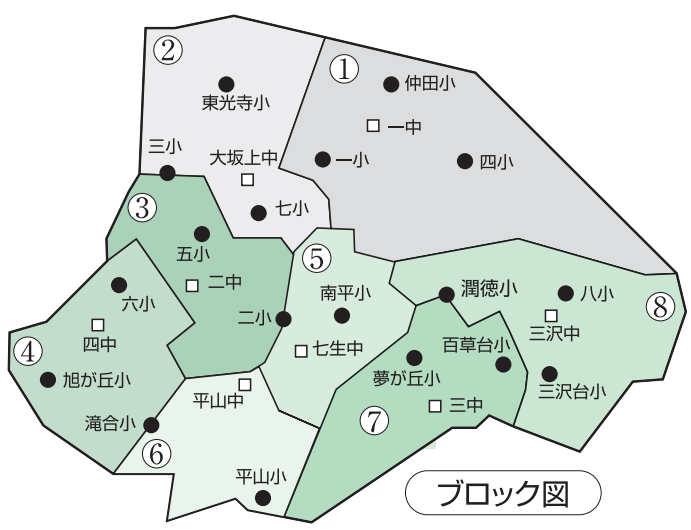
自治会からのご相談

担当部署またはサポーターからお返事します

担当部署
問合せ先が分かるものは従来どおり直接、担当部署へどうぞ

連携

**サポーター**
私が自治会の相談窓口です。
気軽にお声かけください。



ブロック図

●地域サポーター制度担当部
中学校区ごとに市役所の担当部を割り当てました。

| | 中学校区 | 担当部 |
|---|---|---|
| ① | 一中 | まちづくり部・農業委員会事務局 |
| ② | 大坂上中 | 環境共生部 |
| ③ | 二中 | 市民部 |
| ④ | 四中 | 子ども部・市立病院 |
| ⑤ | 七生中 | 総務部 |
| ⑥ | 平山中 | 企画部ほか※ |
| ⑦ | 三中 | 健康福祉部 |
| ⑧ | 三沢中 | 教育部 |

※企画部のほかに会計課、監査委員事務局、選挙管理委員会事務局、議会事務局が担当

## 北京の印象

日野市長 馬場弘融

都の区市町村日中友好団の副団長として、中国に行ってきました。訪問したのは北京・蘇州・上海です。北京市と東京都は友好都市を締結しており、毎年交互に訪問しているのです。

私にとって北京行きは3度目です。最初は26年前でしたが、印象は全く変わりました。

○北京にみどりが増えた

新しく整備した道路は緑地帯が幅広く、電線の地下埋設まで進んでいます。以前の北京は、もっと黄色っぽくて、砂漠の中にある都市という印象でした。

万里の長城で有名な八達嶺の山々も、かつての禿山状態から植林を見事に進め、みどり豊かな山に変わっています。国土緑化を目指す、中国の強い意志を感じました。

○政界トップが若い

北京市では副市長はじめ、複数の区長・副区長にお会いしました。いずれも30代で、とても経済問題に詳しい方々です。今の中国は、中央政界・経済界・地方自治体の三者が、渾然一体となって運営されています。そこにパワーの秘訣があるようです。

○街は建設ラッシュ

オリンピックまであと2年。懐かしく古い街なみが壊され、高層ビルが建設されています。中国らしい古いレンガ造りの家がずいぶん減って、少し寂しさも覚えました。

お隣の国・中国については、もっと若い人に見てほしい。物凄いパワーと危うさなど、多くを感じた訪問でした。